

I 平和を創りかおり高い文化を発信するまち

戦後文化資料等展示事業（予算額：約3224万円）

沖縄市は全国的にも極めて個性的な戦後史を歩み、ユニークな歴史文化を育んできました。この歴史文化をまちづくりに活かそうと、商店街（パルミラ通り）に空き店舗を利用した展示室「ヒストリート」及び「ヒストリートⅡ」を設けました。

平成30年8月8日には、展示室「ヒストリート」及び「ヒストリートⅡ」と統合し「沖縄市戦後文化資料展示館ヒストリート（以下、新ヒストリート）」としてコザ・ゲート通りにリニューアルオープンしました。新ヒストリートでは、これまで以上に内容が充実した常設展と企画展（年に数回）を開催するとともに、戦後情報誌「KOZA BUNKA BOX」等により沖縄市の戦後歴史文化情報を発信し、市民をはじめ、修学旅行生、大学関係者、観光客等を中心市街地に誘客し、活性化を図ります。



I 平和を創りかおり高い文化を発信するまち

平和行政推進事業 (予算額：約2922万円)

沖縄戦の悲惨な体験や教訓を風化させることなく、後世に平和な未来を受け継ぐために以下の取り組みを行います。

- ・『平和』をテーマに写真を募集する「市民の眼・平和写真展」
- ・市内各中学校から推薦された中学生17名と公募によって選ばれた社会人3名を平和大使として認定する「平和大使研修」
- ・市民団体等と共に実施する「平和月間企画展（8月1日から9月7日まで）」
- ・沖縄戦への理解を深めるため、県内8市町村と姉妹都市の米沢市が参加し学び合う合同研修の開催。「おきなわピースフェスタ2018」
- ・平和大使の活動やコンサート等を通して平和を発信する「沖縄市民平和の日記念行事（9月7日）」
- ・平和について学ぶ座学や、市内の戦跡等をガイドと共に巡る「市民平和講座」
- ・沖縄市平和イメージキャラクターソテツの妖精『キューナ』による地域や学校等への平和発信活動



I 平和を創りかおり高い文化を発信するまち

文化芸能推進事業

(予算額：約4881万円)

市民に文化芸能にふれる機会を提供することにより、個性豊かな市民文化を高めるための事業です。

文化芸能に対する関心や理解を深め、地域の文化振興を図るため、個性豊かな芸能などを紹介する「おきなわ芸能フェスティバル」などのイベントを開催します。

また、市民が企画・運営する舞台講演などの文化芸能活動を支援しています。



図書館機能充実事業

(予算額：約5924万円)

昨年移転した新図書館が生涯学習や文化交流の場として、本の数を増やしたり、老朽化した移動図書館車（ちえぞう君）を新たに購入したりして、多くの市民が利用したくなる図書館にしていきます。

